

「大手町イノベーション・ハブ (iHub)」プレオープン・セミナー 要旨

日時：平成 25 年 3 月 19 日 (火) 10 : 00-12 : 00

セミナー概要

(詳しくは関連 PDF をご参照)

1. 「大手町イノベーション・ハブ」のご紹介

冒頭、主催者 (日本政策投資銀行) より「大手町イノベーション・ハブ (iHub)」の取り組みについてご説明。

(関連 PDF 「大手町イノベーション・ハブ (iHub) について」)

2. Richard B. Dasher 氏の基調講演

基調講演では、日米比較の視座からオープンイノベーションやイノベーションシステムにおける本質的な違いについて講演いただいた。

(関連 PDF 「基調講演_Toward a (New) Model for Japanese Innovation」)

(日米におけるオープンイノベーションの違い)

- ・ 日本と米国ではオープンイノベーションに対する考え方が異なる。日本のオープンイノベーションはサプライチェーンの特定分野をアウトソーシングする傾向が強く、既存ビジネスの延長線上の取り組みである。他方、米国では、新たなサプライチェーンを構築するために外部の協力を求める傾向が強く、既存ビジネスを壊してしまうような取り組みである。米国では、CTO (最高技術責任者) は研究開発部門から独立しており、CEO (最高経営責任者) に独自の見解を伝えし、トップダウンの戦略とボトムアップ的なイノベーションがうまく適合するように工夫されている。

(日米におけるイノベーションシステムの違い)

- ・ イノベーションシステムは「人材」、「資金」、「ビジネスアイデア」の組み合わせである。
- ・ 米国は人やアイデアの流動性が高い。日本はまだ終身雇用の習慣が残っており、優秀な人材がベンチャーに流れることが少ない。日本の場合、人材では「労働市場の流動性」がキーポイントとなろう。
- ・ 米国では多くの省庁が大学向けの研究開発資金を提供している一方、日本は文部科学省からの資金提供が殆どである。従って、研究開発資金の用途が基礎研究中心となり、産業界の目線から遠くなりがちである。資金については政府の資金等がどの大学や企業に流れ、研究開発のどの段階で使われているのか等を把握することが大事になる。
- ・ アイデアに関しては、知的財産の所有パターン (インキュベーションの場合は新規企業の所有権・財産・技術がどのように創立ちームから投資家や会社にどのように流れるか)

を把握する必要がある。米国は技術ライセンスの取り扱いに関して経験・ノウハウが蓄積されているが、日本では法律はあるものの経験が不足しており慣れていない感がある。

3. ディスカッション

参加者から概ね以下のような質問・意見があった。

- ・ ファイナンスの多様性をどう確保するか、リスクマネーをどう活かしていくことが重要。過去の高度成長の時代は銀行主導の資金提供システムが調達の安定性という点で優れていたが、今日の事情に適合する新しいファイナンスの仕組み作りに挑戦しなければならない。
- ・ 日本の大手企業がシリコンバレー等でネットワークを構築するには、事務所を構えてスタッフを常駐させても3年程度の時間が必要と言われている。もっとスピーディに海外ベンチャー等と連携する効率的な方法はあるのか？
- ・ 日本企業がシリコンバレーなどでキラリと光る会社を探し出す役割は、R&D部門が担うことが多い。一方で、企業の事業部門は顧客に対して、他社の技術ではなく、自社の技術を売りたいと考える。外部技術とのアライアンスを進めるには、この社内のギャップを埋めていくことが大事。
- ・ アイデアやイシュー（論点・課題）の設定が非常に大事だと思う。今から20年ほど前、ソフトウェアの世界では「オブジェクト指向」という考えが主流となった。当時を振り返ると「ムーアの法則」をどう解釈するかという点で日米に違いがあった。米国はソフトウェアの構造が根本的に変わるという解釈をし、Windowsの世界を根本的に変えてしまったシステム（OS）を生み出した。日本はこれをマルチメディアと解釈した。物事の本質をどう解釈するか、さらに言えば「解釈の冒険」ができるかどうかのポイントだったのであろう。
- ・ 将来のビジョン、これは徹底的に考えても予測できない部分はいつでもある。しかし、多様な人が（知的）交流することで良くなると思う。大手町イノベーション・ハブの役割は、ブレインストーミングできる場であると同時に、どうやって実現・実行のステージにもっていくかが大事である。この取り組み自体はかなり面白いと感じるし、とても見込みがある。どのような形になるか、どのような人を集められるか。1、2年以内に面白い話がでてくる可能性は高いと感じている。

以上